

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（芹沢細谷紺谷村自治会）
2	日時	令和7年2月16日（日）14:00～15:00
3	場所	芹沢細谷紺谷村自治会館
4	出席者	（資源循環課）小俣課長、八幡主事 （環境事業センター）富田所長、角寄技能労務主査 （芹沢細谷紺谷村自治会）参加人数：44人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 対象は、生ごみだけか。 → 生ごみを含む燃やせるごみが、対象である。 ● 指定ごみ袋のサイズにおいて、45ℓを作製することはできないか。使用しているポリバケツが45ℓであり、40ℓだと座りが悪く、ポリバケツの中に落ちることがある。 → 現時点においては、45ℓの指定ごみ袋を作製する考えはない。しかし、昨年実施したごみ有料化及び戸別収集に関するアンケート調査などからも現行のサイズ以外のサイズを求める声をいただいているため、今後のごみ有料化制度の見直しの中で検討していく。 ● 道路に面するところに普段は駐車をしているのだが、収集日にのみネットを出せば良いか。 → 常に出しておく必要はない。 ● なぜ燃やせるごみだけが対象か。 → 戸別収集による影響や効果を検証するために、現状、ステーションで課題が生じている品目である燃やせるごみを選定した。 ● 芹沢地区においては、カラスが多く飛んでいるが、カラス対策の方法は何かないか。 → 戸別収集実験事業ガイドブック5ページを参考にさせていただきたいが、これらの方法でなければならないということではない。 ● 落ち葉は透明・半透明の袋で出すことができるが、排出制限はあるか。 → ご家庭から出るごみにおいては、排出制限はない。落ち葉なども排出制限はないが、週の前半にごみが多く出される傾向にあるため、多量に出る場合は、月曜日と木曜日に分散して出していただきたい。 ● 他市でも戸別収集を実施していると思うが、他人の家のポリバケツにごみを入れられてしまったという事例は聞いているか。

→ そのような事例で苦勞したという情報は確認していない。

● 実施期間以降に中止することもあるか。

→ これまでのステーション収集を望む声が多い場合や戸別収集による影響や効果が確認できない場合においては、中止することも考えている。

以上